

秋田まるっと会議

Q1、どんな活動をしていますか？

令和5年7月の秋田豪雨災害時、秋田市・社会福祉協議会・企業・県内外NPOなどが支援状況と被災状況を共有するために集まり、必要な支援を協議してきた。その後も毎月1回、秋田市・市社協・NPO等が定期的に会議を開き、活動状況や課題を共有し解決に取り組んでいる。11月26日には「秋田まるっと会議」シンポジウムを開催し、地域で支え合う連携体制の重要性を確認した。



秋田まるっと会議の様子

Q2、活動する上で、 どんなことを心がけていますか？

避難者の困りごとは一人ひとり違います。家屋の損壊、生活環境の悪化、経済的負担、家族のケアなど多くのストレスを抱えます。それぞれ、状況が違うことを理解する。高齢者、障がいのある人、子ども、外国人など配慮が必要な被災者への支援の仕方を学ぶことも重要です。善意でも被災者が望んでいない支援は負担になります。長期的な支援として、片付けて終わりではない、生活再建には長い時間がかかります。寄り添った継続的な支援が必要だと考えます。



シンポジウム開催の様子

私たちの活動に参加しませんか！

団体からのPRメッセージ

災害時の支援活動は、NPO・行政・社会福祉協議会・企業などが連携することで、より大きな力を発揮できます。そのためには、平時から「有事に備えた顔の見える関係づくり」が欠かせません。災害が起きたとき、自分には何ができるのか、そしてみんなで力を合わせれば何ができるのか。その答えと一緒に考え、支え合える地域をつくっていきましょう。

活動情報

- 日 時 月1回
- 場 所 主に秋田市役所
- 内 容 情報共有会議
- 対 象 市民活動団体

問合せ先



団体名 秋田まるっと会議

代表者 会長 畠山 順子

TEL 080-5566-6238

メール yutori@circus.ocn.ne.jp